

歩人倶楽部 (Photo Club)

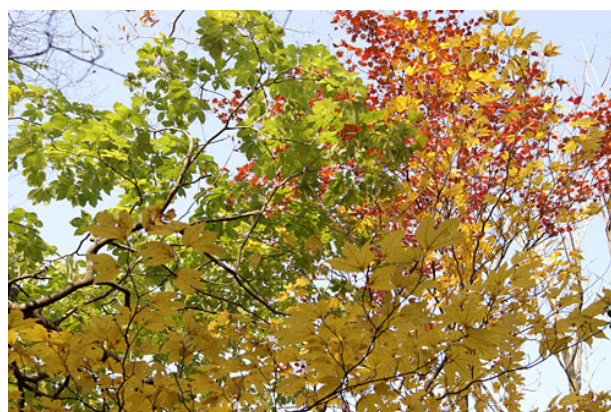
愛知川 (鈴鹿) 2005年11月13日 No.348 隊長

◆コース：朝明～羽鳥峰～ヒロ沢出合～お金峠～P874～大瀬～タケ谷～根平峠～朝明 (8:20～16:00)

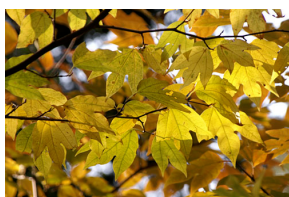
鈴鹿の紅葉の便りが届きだしたと思ったら、一気に稜線を駆け下りてきた。先週の鎌ヶ岳は、稜線の紅葉がすでに終わっていたので、今週は仙ヶ岳あたりかなと思ったが、しばらくこの時期に愛知川を歩いていなかったもので、歩くことにした。もともと、谷よりも尾根歩きが好きだが、この時期の愛知川は見逃せない。



た。羽鳥峰までは変化の少ない林道歩きが退屈だが、この時期は紅葉が見頃になっていて、きろきろしながら歩いていたら気が付くと峠の手前まで来ていた。



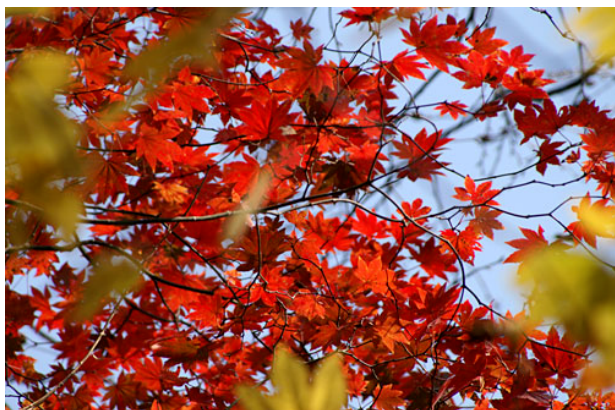
朝早く起きて、あちこと寄り道しながらのんびりと歩きたいなと思っていたが、なかなか朝早くは起きることができなかった。朝明の駐車場に到着したのが8時半頃だった。間髪入れずに料金の徴収に来た。駐車場はほど半分ほど詰まっているが、今日は絶好の日和なので人出が予想され、車を奥へ奥へとつめている。タクシーで登山口まで乗りつける登山者もあり、それに鈴鹿の登山基地としては好位置にあるので、結構な賑わいだ。



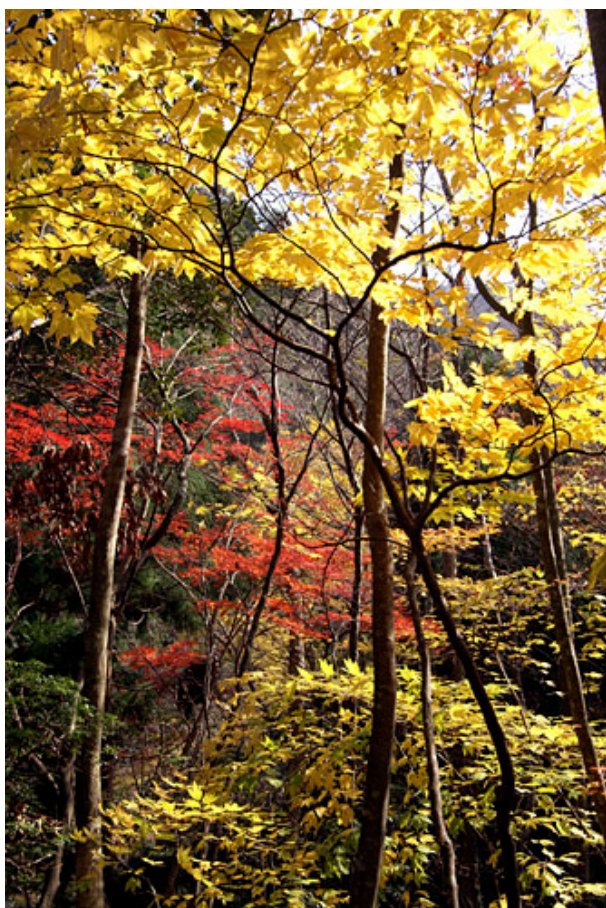
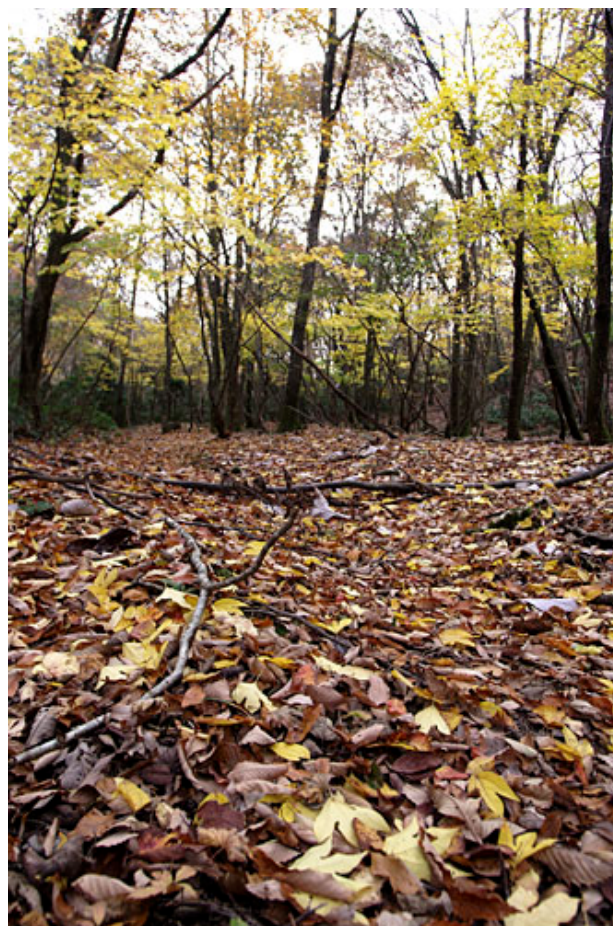
中峠を越えれば、愛知川へ最短距離で行けるが、最近歩いたので今回は羽鳥峰経由でヒロ沢に下りることにし



ヒロ沢出合



久しぶりにヒロ沢に下りた。先客がひとり地図を広げている。目の覚めるほどの紅葉ではないが、時期的にはちょうどいい頃なのだろうか。ザックを下ろし撮影にかかる。もう昼前だが、太陽の高度が低く、谷の半分が日陰になっているので構図がとりにくい。撮影後、大澗に向かう。大トロに下りて昼食にしようとも思ったが、まだ少し時間があるので少し道草をすることにした。近くにお金明神があるが、今回はちょっと変化をつけて、お金峠からP874あたりを彷徨うことにした。このあたりは尾根歩き派の本能というか、高い所に登らないと充実感が得られないのだろうか。少しばかり展望を期待したが、なにもなし。そのまま愛知川まで下り昼食にした。ここまではヒロ沢で一人の登山者と出会っただけだったが、この時間になると位置的にも何人かの山者と行き交った。



大トロまで行き、中峠を使って最短距離で帰ろうかとも思ったが、まだ少し時間のゆとりがあったので、そのまま上流を目指す。上流へ行くほど谷が浅くなり、谷へ下りての撮影がしやすくなる。撮影をしていると二人組の登山者に道を尋ねられた。「ここはワサビ谷ですか？」との問いに、「ここは愛知川の本流です」と答えた。つまり現在位置が分からなくなっている状態だ。オゾ谷を上がってから下りてきたそうだが、一旦方向を見失うと道迷いの原因になる。この愛知川では年に何度かは道迷いがおこっているようだ。



上水晶谷間で足を伸ばそうかとも思ったが、どうやら時間切れのようだ。愛知川を後にして根の平峠に向かった。